

がむしやらに、まっすぐに
日本一住みたい村づくり32才！

アメク 朝誠



北中城村議会 議員

後援会会報誌

議会活動報告 第3号

アメク朝誠の政策提案と議会活動の基本的な視点

村の価値を高め、住みたい・住んでよかったと思ってもらう

子どもやハンディキャップを持つ人が、この場所を素敵だと思ってくれるなら、きっとみんなが住みたいと思ってくれる場所です。公園で元気に遊ぶ声と、木陰で休む笑顔まで大切にできる村にしたいです。

支える仕組みと支える力を育む

次の世代をまもりたいと思う事が自然であり、あるべき社会の形だと思います。これは、当たり前なのですが、現代では少しずつ難しくなっているのも事実です。

私たち大人がやるべき事は、次世代が社会を支えていけるように、限りある資源を守り引き継ぎ、それを活かす子ども達へ知恵と力を磨く環境を整える努力が必要です。そのための種まきを、みんなでできる村にしたいと思っています。

村の子ども達がまっすぐに育ち、大きな実をつけ、未来の沖縄を良い方向へ導く事ができるように取り組んで行きます。私一人ではできません。村民の皆様の後押しがあれば必ず実現できます。

議会で主に取り組んだ内容

まちづくり・総合分野

- ・東海岸地域の防災、減災への取り組み
- ・東日本大震災復興支援への北中城村の取り組み
- ・災害姉妹町村の締結へむけての取り組み
- ・災害に強い地域をつくるために必要な対策
- ・住民ニーズに応える窓口サービスの提案
- ・村内公共施設整備、将来のライフサイクルコスト
- ・北中城村webサイトを住民が利用しやすくする提案
- ・北中城村の空き家の状況と再利用や将来へ向けた対策
- ・シルバー人材センター設立
- ・村の総合計画策定提案・自治基本条例策定提案
- ・北中城村漁業組合のアーサ収穫量減少の原因と対策
- ・将来の村政安定のために、村の人口獲得計画を作る
- ・計画的な土地区画整理事業・北中城村東海岸整備事業
- ・イオンモールに関わる村民雇用の確保と税収増
- ・「愛、協働、共生」3つの村づくりを具現化するための具体的な方策
- ・村道と仁屋32号線と 和仁屋・仲順線の 安全対策
- ・村立体育館の解体工事の安全対策

福祉・医療分野

- ・成年後見制度相談支援事業創設
- ・予防接種事業・乳幼児健康診断親子への現場での配慮等
- ・義務教育終了までの医療費 拡充
- ・認可保育所・保育園の一時預かり保育事業充実
- ・健康長寿のための健康対策事業各種提案
- ・村民の健康増進を目的とする、総合型地域スポーツクラブへの支援

教育分野

- ・本村の、国際教育（第2言語）についての考え方と、DOTEプログラム（インターネットを介した米国大学とのリアルタイム授業）導入
- ・全国初となる取り組みDOTEプログラムを中学校全体へ導入提案
- ・給食費未納対策（毎年300万円以上）
- ・村立小・中学校へのスクールソーシャルワーカー配置
- ・幼稚園就園奨励費補助金増額
- ・海外短期留学生同窓会設立へ向けて
- ・南米3カ国研修生受け入れ・派遣事業の在り方（村の子ども達にもっとお金を使えるように）

後援会事務所 （和仁屋公民館近く）

北中城村字和仁屋29番地

TEL/FAX 098-935-1382

携帯 090-1363-0545

Eメール choseiameku@yahoo.co.jp



やブログで情報発信しています
天久朝誠で検索



今後の取り組み

(紙面の都合上一部を掲載)

計画的で丁寧な行政運営

- ・総合計画に沿った村づくりを実行しているかしっ
かりチェックします。
- ・自治基本条例(自治体の憲法)の策定を求め、村
の役割や、住民と行政の関係を明確にします。
- ・顔がみえる行政、丁寧な窓口対応、村ならではの
良さを最大限に引き出していきます。

産業育成、農水産業を盛り上げる

- ・農水産業者を応援し、地元の
農水産品を加工し、お客様のお手元
まで届けるなど、サービスを合わせた6次産業化を支援していきます。



村の特産品アーサを使用
した商品

- ・遊休農地が60ha以上ある村の
現状打破と、将来の沖縄の豊かな食
を守るため、専業・兼業農家になり
たいと思えるような当事者目線の支
え方が必要です。村だからできる事
があります。

- ・特産品のアーサの漁獲量の
減少の原因を調査し、拠点産地を守
る取り組みを支援します。

例えばCafé 1 グランプリ！？

今あるものを活かす

村内には多くのカフェがあり、
県内外の観光客が探してまで北
中城村にやってきます。村内飲
食店さんを集めた祭りは、地域
経済活性化に繋がります。行政、
商工会だけでなく村民の皆様か
らの声があれば実現できると考
えています。



ひまわり祭りも有名になりました

・考えて選ぶ食育

食べる事は生きる事。自らが口にすることを考え(思考力)、選ぶ事(判断力)は、人生において重要です。
知識を使うための思考力と判断力を育てる「本当の食育」を提案していきます。

・DOTEプログラム(インターネットを介した米国大学講師と
のリアルタイム授業)を中学校全体へ導入。3年前に米国へ教育
調査(自費)へ行きました。中国・イスラム圏の学生が多い中、
日本人は本当に少ない状況でした。英語は道具です。
沖縄の発展のために子ども達へ世界で通用する道具を贈る取り組み
を就任当初から行っています。

・村内教育施設(幼稚園・小中学校)と保育施設(保育所・
認可保育園・認可外保育園)での知育と体育の向上、心の
発達のため図書の実装や遊具等の環境整備を提案していきます。

議会改革

- ・毎年度個人で議会報告会を実施してきました。
この取り組みを議員有志での報告会⇒議会全体
の報告会へと発展していけるように提案してい
きます。
- ・議会基本条例を制定し、議員同士の横の討論や
議会や議員の役割、住民と議会の関係などを明確
にしていきます。
- ・インターネットでの議会中継と録画配信。
自宅にいなが好きな時間に議会動画配信や、
行政から動画情報の配信が受け取れるように
提案していきます。



アメク朝誠 議会報告会の様子



次代を支える 子どもたちへ

・子ども審議委員導入 中学生が大人を審議する！？

村民提案制度(150万円の振り分け)などを例にすると、将来の北中城村のためになる事
業かどうかを子ども達の純粋な目で審議し、「大人の話」を聞き、決定する機会をつくります。
みんなのお金(税金)の使われ方を学ぶ機会にもなります。

・給付型奨学金制度

県民所得最下位の沖縄県の状況を改善するには、子ども達の大学進学率を高める事が実効性
が高い振興策だと思います。

北中城村を牽引する人材をつくるためにも、県内外・外国大学へ子ども達を送り出す必要が
あります。沖縄県と連携し、返済の必要のない奨学金制度を創設する活動を行います。
私自信、奨学金の返済に苦労した経験があります。返済義務がない給付型奨学金には経済的
な制約が少ないため、早い時期からのダイナミックな活動が期待できます。

観光産業を創出するために

- ・我が村には中城城跡をはじめ、
文化的価値が高く観光に活かせる
資源が多くあります。観光バスや
スマートフォンなどIT技術とイン
フラを整備し、世界中の人と村の
観光資源を繋げる提案を行います。



活かしたい 世界遺産 中城城址

健康は継続した努力、長寿は最高の結果

- ・三世代健康長寿プロジェクト
健康は食習慣や運動、心の状態に
大きく関係します。子どもの頃から
食に対する意識を高め、運動を
習慣化する事が大切です。また三
世代で楽しく一緒に学ぶ事もみん
なで続ける秘訣です。
そんな機会を提案していきます。



美寿(ミス)北中城に健康長寿を学ぶ！

年を重ねる事を楽しめる村

ゲートボールやグラウンドゴルフ
大会、健康増進の交流大会などの企
画・運営者への支援を行い、スポー
ツや文化交流で身体と心の健康づく
りのサポートを提案していきます。
・国の方針で介護予防事業は市町村
へと移行します。今後は各自治体の
取り組みの「差」が出てきます。区
単位のきめ細やかな健康指導や体力
づくりを提案していきます。



楽しみながら、運動できる
環境づくり



2011年米国大学視察

DOTEプログラム授業風景